

よんで「たえよう」

むかし、ある山おくに、きこりのふうふがすんでいました。山おくの一けんやなので、まいばんのようにたぬきがやってきて、いたずらをしました。そこで、きこりはわなをしかけました。

ある月のきれいなばんのこと、おかみさんは、糸車をまわして、糸をつむいでいました。

キーカラカラ キーカラカラ

キークルクル キークルクル

ふと気がつくと、やぶれしようじのあなから、二つのくりくりした目玉が、こちらをのぞいていました。

糸車がキークルクルとまわるにつれて、二つの目玉も、くるりくるりとまわりました。そして、月のあかるいしようじに、糸車をまわすまねをするたぬきのかげがうつりました。

おかみさんは、おもわずふき出しそうになりましたが、だまって糸車をまわしていました。

① あなたのなまえをきれいにかきましよう。

② 一つのおはなしですか。

③ きこりのふうふは、どこにすんでいましたか。

④ いたずらしたのは、だれですか。

⑤ わなをしかけたのは、だれですか。

⑥ いとぐるまをまわしていたのは、だれですか。

⑦ おかみさんは、いとぐるまをまわして、なにをしていたのでしょうか。

⑧ 二つのくりくりした目玉は、どこからのぞいていましたか。

⑨ 糸車がまわると、二つの目玉はどうなりましたか。

⑩ しようじに、なにをするたぬきのかげがうつりましたか。